『リハビリテーション連携科学』投稿原稿添付票

# 投稿区分（アンダーライン、または□で囲んでください）

初投稿　　再投稿 （受付番号： 　　　　） （　　　　回目）

原著　短報　事例報告　総説　展望　資料　その他（ 　）

# 第１著者

会員番号：

氏名（ふりがな）：

氏名のローマ字表記：

所属機関・部局名：

所属機関・部局名の英文表記（英文抄録を希望する者のみ）：

所属先住所：〒

連絡先住所※：〒

連絡先電話・FAX番号※：

連絡先E-mail※：

※　連絡，原稿返送，お問い合わせ，校正等に必要ですので確実なご連絡先をご記入ください。

# 第２著者（第３著者以降はコピーして記入してください）

会員番号：

氏名（ふりがな）：

氏名のローマ字表記：

所属機関・部局名：

# 表題

和文表題：

和文略題（柱に記載，20字以内）：

英文表題：

＊日本リハビリテーション連携科学学会大会にて発表した内容の場合、ご記入ください）

第　　回大会（　　　年　　月　　日）にて（口述・ポスター）発表

# チェックリスト

　各項目の内容が正しく対応されているかを確認して、括弧内に✓または○を入れること。

（　）著者は全員，日本リハビリテーション連携科学学会会員か。

（　）投稿論文の内容は，リハビリテーションに関わるもので，未公刊であり，二重投稿していないか。

（　）投稿承諾書を添付したか。

（　）投稿原稿添付票を添付したか。

（　）投稿論文の区分（原著，総説，展望，短報，事例報告，資料，会員の声）を記したか。

（　）当該区分の規定枚数を超えていないか（１枚は800字に換算，図表１個は400字相当として全枚数より減じる）。

（　）投稿原稿は，ヘルシンキ宣言の精神に基づき，研究倫理についての検討が行われており，原著，短報，事例報告，資料等では，その旨の記載があるか。

（　）和文抄録は，400字以内で，原著の抄録の場合は，目的，方法，結果，結論に分けて記載したか。

（　）検索用のキーワードを3～5語添付したか。

（　）英文抄録を希望する場合は200語以内とし，あらかじめネイティブチェックを済ませ，Key Words を3～5語添付したか。

（　）原稿は，マイクロソフト・ワードで作成し，縦置きA4 判用紙に１枚につき40字×20行で横書き，頁番号，行番号をつけたか。

（　）常用漢字，現代仮名遣い，算用数字を用いて表記したか。

（　）原稿の見出し（章・節・項）は，ポイント・システム（投稿ならびに執筆規定参照）を用いたか。

（　）図表は，投稿原稿の本文中に挿入を希望する箇所を指示したか。

（　）本文とは別の白紙に，鮮明に書かれた図表を1頁につき1個記載したか。

（　）図表の刷上りスペース（図表の表題と説明文を含む）は，原則として片段（横幅80mm），または段抜き（横幅160mm）になるように作成したか。

（　）図表中の文字のフオントは，刷上りサイズに適切なものとしたか。

（　）文献を本文中に引用する際，右肩番号で本文末尾文献欄記載と対応させて表示したか。

（　）本文末尾文献欄には，本文中に引用した全ての文献を過不足なく引用順に番号を付して記したか。

（　）文献の記載法は，科学技術情報流通技術基準（SIST : http://sist-jst.jp/perusal/index.html）に則って記載したか。